



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

Official TEST Report 2020/8/28 TWIN RING MOTEGI 2nd Official test

COVID-19 新型コロナウイルスの影響により、シーズン開幕が遅れた 2020 年シーズンスーパーフォーミュラは、予選と決勝を 1 日で行う新たなレースフォーマットで、8 月 29 日よりいよいよ開幕を迎える。

その開幕を前に、ツインリンクもてぎで公式テストが行なわれた。

およそ 5 か月ぶりの走行に、DOCOMO TEAM DANDELION RACING は、真夏のもてぎ対策テストメニューを準備。山本、福住 両ドライバーは、着々とメニューを消化した。

まずは山本選手が 1 分 35 秒前半のトップタイムを記録。福住選手が上回ると、すぐに山本選手が記録を塗り替え、両ドライバーは好調をアピール。

セッション終了間際の各車タイムアタックでは、目まぐるしく順位が変わり、山本選手 3 番手、福住選手 5 番手で、明日の開幕戦に向けてのデータを収集。短い時間ながらも有意義なテストを終えた。

5 : 山本尚貴 選手 総合 3 位 (ホンダ勢 1 位)

約 5 か月ぶりにスーパーフォーミュラマシンを走らせましたが、フィジカルトレーニングも続けてきましたし、チームミーティングも、リモートながら密に行っていたので、まったく違和感なく対応出来ました。今シーズンは、レース距離が短く、基本的にピットストップもないので、予選ポジションが重要です。

車のベースセットもよいので、この良い状況をベースに、明日からの開幕戦に向けて準備をします。

6 : 福住仁嶺 選手 総合 5 位 (ホンダ勢 3 位)

やはりスーパーフォーミュラのマシンは速くて楽しいというのが第 1 印象です。

明日からの開幕戦を迎えられること、多くのファンや支えてくださる方々、関係者の協力があったとのこと。レースができる喜びを感じています。

ツインリンクもてぎはオーバーテイクの難しいサーキットです。ピットストップもありませんから、レース戦略の幅は限られ、予選が重要になります。

テスト結果を解析し、さらに速く走ることができるよう準備して臨みます。



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

予選レポート

2020/8/30 Rd-1 ツインリンクもてぎ

天候：晴れ 気温：36℃ 出走台数：19台

COVID-19 新型コロナウイルス感染対策として、2020 シーズンのスーパーフォーミュラは、予選と決勝を同日に開催するワンデー開催となった。

2 グループ制が導入されたノックアウト第 1 予選。

A 組の山本選手はシグナルグリーンと同時にコースイン。ブレーキや車のウォームアップと確認を行うと、すぐにピットインし新品タイヤを装着してタイミングを待つ。残り 3 分でコースインした山本選手は、他の車両とは異なり計測 1 周目のタイムアタック。最終セクターでトラフィックに引っかかる場面もあったが、1 分 31 秒 895 を叩き出しトップに立つ。その後 1 台が上回り 2 番手で第 2 予選へ。

B 組福住選手も、山本選手と同じ戦略。グリーンと同時にチェックランを行い、残り 4 分を切ってからコースイン。計測 1 周目アタックをし、1 分 31 秒 440 でトップ通過した。迎えた第 2 予選。14 台が 7 分のセッションでアタックを行うため、コースインのタイミングがカギとなる。第 1 予選同様、グリーンシグナルと同時に DOCOMO TEAM

DANDELION RACING の 2 台はチェックラップを行ない、新品タイヤに交換して残り 3 分を切ったところでコースイン。他車が 2 周目にアタックする中、1 周目アタックを行った。この戦略が裏目に出たか、トラフィックに追いついてしまった両ドライバーはペースを上げられず、福住選手 9 番手、山本選手は 14 番手と、共に第 2 予選で終えることとなってしまった。

5：山本選手 予選 14 位 (第 1 予選 A 組 2 位 第 2 予選 14 位) HONDA 勢 4 位

第 1 予選では非常に感触良く、自信を持って第 2 予選に臨んだのですが、タイヤを十分にウォームアップできず、自分と車の本来の力を出せずに第 2 予選で終えることとなったのはとても残念です。結果的に、予選戦略に柔軟性をもって対応できれば結果はかなり違ったと思います。この点は課題ですね。基本的にピットインのない明日の決勝は、14 番グリッドと厳しい位置からスタートしますが、チーム総合力で出来るだけ多くのポイントを獲得したいです。

6：福住選手 予選 9 位 (第 1 予選 B 組 1 位 第 2 予選 9 位) HONDA 勢 2 位

走り始めから車の仕上がりは非常に良く、予選上位に自信もありました。タイヤの使い方に悩んでいた部分もあったのですが、1 周目のアタックを選択して第 1 予選を首位でクリアできました。しかし第 2 予選ではクリアラップを見つけられず実力発揮できませんでした。今大会はスプリント勝負になります。まずはスタートを決め、35 周をしっかりと戦って上位フィニッシュを目指します。



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レポート

2020/8/30 Rd-1 ツインリンクもてぎ

天候：晴れ 気温：40℃ 出走台数：18台

観客数：29日(土)3,500人 30日(日)4,800人 合計8,300人

過酷なコンディションで知られる真夏のツインリンクもてぎ開幕戦は、気温40度、路面温度46度という灼熱のコンディションの中で開催された。

今シーズンは、COVID-19新型コロナウイルス対策として、スタッフの密集状態を下げるため、レースフォーマットが変更された。

レース距離は35周に短縮、レース中のタイヤ交換義務はなく、給油作業は禁止、使用タイヤはソフト1スペックのみとされた。

福住選手9番グリッド、山本選手は14番グリッドからスタートした両選手は、それぞれスタートの混乱をうまく切り抜け、福住選手は2ポジションアップの7番手で、山本選手は6ポジションと大きくポジションを上げて8番手で、オープニングラップを周回。

ここから両ドライバーを含む6台による4番手争いが17周にわたって繰り広げられた。

淡々とチャンスをうかがっていた福住選手は、18周目のバックストレートで小林選手をオーバーテイクし6番手に浮上。翌周には8番手につけていた山本選手も、バックストレートで小林選手に並んだが、2台が交錯し、山本選手はフロントウイングを破損。そのまま緊急ピットイン、15番手まで順位を落とすことに。

22周目、福住選手は関口選手とサイドバイサイドのバトルを展開。これを攻略し5番手へ。前方がクリアになった両ドライバーは、共にベストタイムを更新しながら前を追うが、福住選手5位、山本選手は13位で開幕戦を終えた。

5：山本選手 13位 (HONDA 勢6位)

スタートとオープニングラップはとてもよく、レースペースも速かったので、4位争いグループの中、ポジションアップの機会をうかがっていましたが、バックストレートのバトルで接触し戦線離脱となってしまう、結果を残すことができませんでしたが、前向きな要素も多くあり、同時に問題点もはっきりしたので、これらを次戦に生かして挽回をします。

6：福住選手 5位 (HONDA 勢1位)

9番グリッドからのスタートでしたが、あらゆるチャンスを生かして前に行こうと、まずは好スタートを狙っていました。スタートで順位を上げ、4番手争いグループの中から、チャンスを無駄にせずに2台を抜き5番手までポジションアップ出来ました。その後のクリーンな状態でのペースもよく、5位でポイントを持ち帰ることができました。

週末を通して、自分自身も車も非常に良かったので、予選の失敗が悔やまれます。

改善すべき部分がありますので、次戦岡山に向けてデータ分析し、さらに成長したいと思います。